



2019年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2018年8月10日

上場会社名 株式会社 日阪製作所 上場取引所 東
 コード番号 6247 URL https://www.hisaka.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 竹下 好和
 問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部部長 (氏名) 波多野 浩史 TEL 06-6363-0007
 四半期報告書提出予定日 2018年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第1四半期の連結業績（2018年4月1日～2018年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第1四半期	7,485	29.9	583	139.3	715	89.1	369	33.3
2018年3月期第1四半期	5,761	10.2	243	26.2	378	129.5	277	△74.8

(注) 包括利益 2019年3月期第1四半期 786百万円 (△1.5%) 2018年3月期第1四半期 797百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第1四半期	12.38	—
2018年3月期第1四半期	9.29	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期第1四半期	61,882	51,547	83.3	1,726.58
2018年3月期	60,275	51,014	84.6	1,708.71

(参考) 自己資本 2019年3月期第1四半期 51,547百万円 2018年3月期 51,014百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
2019年3月期	—	—	—	—	—
2019年3月期（予想）	—	10.00	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2019年3月期の連結業績予想（2018年4月1日～2019年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	15,000	14.3	850	8.7	1,000	1.9	600	△52.5	20.10
通期	28,000	4.1	1,200	△25.4	1,400	△28.7	1,000	△48.1	33.49

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

詳細につきましては、本日2018年8月10日に公表の「第2四半期連結累計期間業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年3月期1Q	32,732,800株	2018年3月期	32,732,800株
② 期末自己株式数	2019年3月期1Q	2,877,444株	2018年3月期	2,877,341株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年3月期1Q	29,855,381株	2018年3月期1Q	29,855,773株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、〔添付資料〕2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報」の「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法）

四半期決算補足資料は、2018年8月10日に当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	8
3. 補足情報（IR情報）	10
(1) セグメント別売上高	10
(2) セグメント別受注高及び受注残高	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間の世界経済は拡大基調が継続いたしました。米国及び欧州では設備投資が好調を維持したことに加え、個人消費も堅調に推移いたしました。また、アジア経済も中国の輸出が伸長したことなどにより、総じて堅調に推移いたしました。国内におきましても、拡大基調にある世界経済を背景として企業収益や雇用環境が改善し、景気は緩やかな回復傾向が続きました。

このような経済環境の中、当第1四半期連結累計期間における受注高は、前年同期に比べ2.8%減少し、7,324百万円となりました。熱交換器事業は、空調、機械工業、半導体関連で中小型汎用品が好調に推移いたしました。海外の石油・化学・発電プラント及び国内造船関連が振るわず減少となりました。プロセスエンジニアリング事業は、食品機器、医薬機器で大型案件を受注いたしました。染色仕上機器で計画案件が第2四半期以降になり減少となりました。バルブ事業は、化学業界向けが好調に推移したほか、チョコレート用の用途限定弁の大口案件を受注し増加となりました。その他事業は、マレーシア子会社及び国内子会社は堅調に推移いたしました。中国子会社で前年同期に染色仕上機器の大口案件があった反動もあり、全体では減少となりました。

売上高は、前年同期に比べ29.9%増加し、7,485百万円となりました。プロセスエンジニアリング事業は、染色仕上機器が減少となりました。食品機器における無菌包装米飯製造設備などの大型プラントや、医薬機器における滅菌装置と調合プラントの大型案件により大幅な増収となりました。バルブ事業は、好調な受注状況を反映して大幅な増収となりました。また、熱交換器事業及びその他事業も増収となりました。

利益面は、事業拡大に向けた人員体制強化に伴い人件費が増加いたしました。売上高の増加に加え、売価の改善及び付加価値の高い商品の販売拡大に積極的に取り組み、増益となりました。これらの結果、営業利益は、前年同期に比べ139.3%増加の583百万円となり、経常利益は、前年同期に比べ89.1%増加の715百万円となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は、大阪府北部地震の被害に対する修繕費などを震災関連費用として特別損失に計上しましたが、前年同期に比べ33.3%増加の369百万円となりました。

なお、当第1四半期連結会計期間より、全自動連続殺菌冷却装置の製造販売を行う旭工業株式会社を連結の範囲に含めております。また、セグメントは「その他事業」としております。

セグメント別の業績は次のとおりです。(セグメント別の業績は内部取引消去前の金額です。)

(単位：百万円／(%) 前年同期比増減率)

	熱交換器事業	プロセスエンジニアリング事業	バルブ事業	その他事業
受注高	2,826 (△4.8%)	3,159 (△1.7%)	1,183 (19.7%)	691 (△33.5%)
売上高	2,960 (12.4%)	3,128 (43.6%)	1,102 (31.6%)	635 (31.2%)
セグメント損益	353 (24.5%)	131 (644.0%)	148 (415.2%)	△17 (※)

※. 前年同期は60百万円のセグメント損失

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の資産は61,882百万円となり、前連結会計年度末60,275百万円から1,607百万円の増加となりました。

これは、現金及び預金890百万円等の減少があったものの、売上債権933百万円や有形固定資産742百万円等の増加が上回ったことによります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債は10,334百万円となり、前連結会計年度末9,260百万円から1,127百万円の増加となりました。

これは、未払法人税等485百万円等の減少があったものの、仕入債務577百万円や繰延税金負債232百万円等の増加が上回ったことによります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産は51,547百万円となり、前連結会計年度末51,014百万円から500百万円の増加となりました。

これは、配当金298百万円の支払等による減少があったものの、親会社株主に帰属する四半期純利益369百万円の計上やその他有価証券評価差額金403百万円等の増加が上回ったことによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

直近の業績動向を踏まえ、2019年3月期の第2四半期連結累計期間業績予想を修正いたしました。

詳細につきましては、本日2018年8月10日に公表の「第2四半期連結累計期間業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,446,463	13,556,245
受取手形及び売掛金	8,354,851	9,202,237
電子記録債権	1,361,158	1,447,623
有価証券	902,040	901,308
商品及び製品	1,939,336	1,952,910
仕掛品	2,149,791	2,371,458
原材料及び貯蔵品	935,290	1,091,984
その他	183,435	239,157
貸倒引当金	△4,063	△4,899
流動資産合計	30,268,304	30,758,027
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	6,416,877	6,765,861
機械及び装置（純額）	1,859,255	1,816,130
その他（純額）	2,331,200	2,767,371
有形固定資産合計	10,607,332	11,349,362
無形固定資産		
ソフトウェア	284,046	261,138
のれん	—	184,921
その他	94,649	91,045
無形固定資産合計	378,696	537,105
投資その他の資産		
投資有価証券	14,471,908	14,657,453
退職給付に係る資産	980,966	984,483
その他	4,050,864	4,078,462
貸倒引当金	△483,022	△482,822
投資その他の資産合計	19,020,716	19,237,576
固定資産合計	30,006,745	31,124,044
資産合計	60,275,050	61,882,072

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,962,917	3,200,004
電子記録債務	1,848,861	2,189,023
未払法人税等	615,030	129,301
製品保証引当金	152,401	219,777
賞与引当金	589,115	292,742
その他	1,138,182	2,062,772
流動負債合計	7,306,509	8,093,620
固定負債		
繰延税金負債	1,869,334	2,101,989
退職給付に係る負債	75,164	109,414
その他	9,600	29,511
固定負債合計	1,954,098	2,240,915
負債合計	9,260,608	10,334,536
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,150,000	4,150,000
資本剰余金	8,813,386	8,813,386
利益剰余金	35,410,189	35,526,956
自己株式	△2,407,305	△2,407,418
株主資本合計	45,966,270	46,082,924
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,155,923	5,559,224
繰延ヘッジ損益	8,210	△4,184
為替換算調整勘定	69,198	48,574
退職給付に係る調整累計額	△185,161	△139,003
その他の包括利益累計額合計	5,048,170	5,464,611
純資産合計	51,014,441	51,547,536
負債純資産合計	60,275,050	61,882,072

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)
売上高	5,761,647	7,485,144
売上原価	4,444,928	5,666,023
売上総利益	1,316,719	1,819,121
販売費及び一般管理費	1,072,865	1,235,619
営業利益	243,854	583,502
営業外収益		
受取利息	1,997	2,356
受取配当金	121,954	142,586
為替差益	4,549	—
その他	10,685	8,384
営業外収益合計	139,186	153,327
営業外費用		
支払利息	17	28
売上割引	839	944
手形売却損	126	1,690
持分法による投資損失	3,372	10,847
為替差損	—	7,977
その他	500	12
営業外費用合計	4,855	21,500
経常利益	378,184	715,329
特別利益		
固定資産売却益	587	46
特別利益合計	587	46
特別損失		
固定資産除売却損	387	4,802
投資有価証券評価損	—	34,380
震災関連費用	—	150,628
特別損失合計	387	189,810
税金等調整前四半期純利益	378,385	525,564
法人税、住民税及び事業税	27,676	119,739
法人税等調整額	73,470	36,229
法人税等合計	101,146	155,968
四半期純利益	277,238	369,595
親会社株主に帰属する四半期純利益	277,238	369,595

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)
四半期純利益	277,238	369,595
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	447,364	403,301
繰延ヘッジ損益	9,602	△12,394
為替換算調整勘定	62,526	△15,672
持分法適用会社に対する持分相当額	△8,193	△4,951
退職給付に係る調整額	9,408	46,158
その他の包括利益合計	520,708	416,440
四半期包括利益	797,947	786,036
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	797,947	786,036

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当していませんが、当第1四半期連結累計期間において、旭工業株式会社の重要性が増したことにより、同社を連結の範囲に含めております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	熱交換器	プロセス エンジニアリング	バルブ	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,437,960	2,167,226	798,158	5,403,345	358,302	5,761,647
セグメント間の内部 売上高又は振替高	195,150	10,920	39,464	245,535	126,059	371,595
計	2,633,110	2,178,146	837,623	5,648,880	484,362	6,133,243
セグメント利益又は セグメント損失(△)	283,823	17,735	28,892	330,452	△60,942	269,510

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、サニタリーバルブの製造販売、エンジニアリング事業、海外拠点における事業及び発電事業であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	330,452
「その他」の区分の損失(△)	△60,942
のれんの償却額	—
全社費用(注)	—
棚卸資産の調整額	△24,610
その他の調整額	△1,045
四半期連結損益計算書の営業利益	243,854

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	熱交換器	プロセス エンジニアリング	バルブ	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,750,304	3,086,280	1,069,644	6,906,229	578,915	7,485,144
セグメント間の内部 売上高又は振替高	210,455	42,432	32,993	285,881	56,400	342,282
計	2,960,760	3,128,712	1,102,637	7,192,110	635,315	7,827,426
セグメント利益又は セグメント損失(△)	353,341	131,948	148,846	634,136	△17,080	617,055

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、サニタリーバルブの製造販売、エンジニアリング事業、全自動連続殺菌冷却装置の製造販売、海外拠点における事業及び発電事業であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	634,136
「その他」の区分の損失(△)	△17,080
のれんの償却額	△5,547
全社費用(注)	△51,889
棚卸資産の調整額	2,111
その他の調整額	21,772
四半期連結損益計算書の営業利益	583,502

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「その他」セグメントにおいて、旭工業株式会社の重要性が増したため、同社を連結の範囲に含めたことにより、のれんを計上しております。当第1四半期連結累計期間において、当該事象によるのれんの増加額は184,921千円であります。

3. 補足情報 (IR情報)

(1) セグメント別売上高

(単位:百万円)

項目	前四半期		当四半期		増減金額	前年同期比	(参考)前連結会計年度	
	2017年4月~2017年6月		2018年4月~2018年6月				2017年4月~2018年3月	
	金額	構成比	金額	構成比			金額	構成比
熱交換器	(364)	(6.0 %)	(204)	(2.6 %)	(△159)	(56.2 %)	(1,266)	(4.4 %)
	2,633	42.9	2,960	37.8	327	112.4	11,125	38.6
プロセスエンジニアリング	(650)	(10.6)	(414)	(5.3)	(△236)	(63.6)	(2,278)	(7.9)
	2,178	35.5	3,128	40.0	950	143.6	10,836	37.5
バルブ	(68)	(1.1)	(124)	(1.6)	(55)	(181.0)	(475)	(1.6)
	837	13.7	1,102	14.1	265	131.6	3,733	12.9
その他	(368)	(6.0)	(412)	(5.3)	(44)	(112.0)	(2,011)	(7.0)
	484	7.9	635	8.1	150	131.2	3,164	11.0
小計	(1,452)	(23.7)	(1,155)	(14.8)	(△296)	(79.6)	(6,032)	(20.9)
	6,133	100.0	7,827	100.0	1,694	127.6	28,859	100.0
連結調整額	(△202)	(-)	(△136)	(-)	(66)	(-)	(△893)	(-)
	△371	-	△342	-	29	-	△1,968	-
合計	(1,250)	(-)	(1,019)	(-)	(△230)	(81.6)	(5,138)	(-)
	5,761	-	7,485	-	1,723	129.9	26,891	-

注1. ()は海外売上高で内書であります。

2. 各セグメントの売上高は、連結調整前の金額であります。

3. 「その他」は、サニタリーバルブの製造販売、エンジニアリング事業、全自動連続殺菌冷却装置の製造販売、海外拠点における事業及び発電事業であります。

(2) セグメント別受注高及び受注残高

(単位:百万円)

項目	前四半期		当四半期		増減金額	前年同期比	(参考)前連結会計年度		
	2017年4月~2017年6月		2018年4月~2018年6月				2017年4月~2018年3月		
	金額	構成比	金額	構成比			金額	構成比	
受注高	熱交換器	(200)	(2.4 %)	(169)	(2.1 %)	(△31)	(84.2 %)	(741)	(2.4 %)
		2,967	36.2	2,826	36.0	△141	95.2	11,415	36.7
	プロセスエンジニアリング	(222)	(2.7)	(940)	(12.0)	(718)	(423.1)	(1,479)	(4.8)
		3,213	39.1	3,159	40.2	△54	98.3	12,024	38.7
	バルブ	(120)	(1.5)	(148)	(1.9)	(28)	(123.4)	(447)	(1.4)
		988	12.0	1,183	15.0	194	119.7	3,808	12.3
	その他	(549)	(6.7)	(174)	(2.2)	(△374)	(31.8)	(2,424)	(7.8)
1,039		12.7	691	8.8	△348	66.5	3,831	12.3	
小計	(1,092)	(13.3)	(1,432)	(18.2)	(339)	(131.1)	(5,093)	(16.4)	
	8,210	100.0	7,860	100.0	△349	95.7	31,079	100.0	
連結調整額	(△235)	(-)	(△167)	(-)	(67)	(-)	(△881)	(-)	
	△672	-	△536	-	135	-	△2,164	-	
合計	(857)	(-)	(1,264)	(-)	(407)	(147.6)	(4,212)	(-)	
	7,537	-	7,324	-	△213	97.2	28,914	-	
受注残高	熱交換器	(574)	(4.5)	(177)	(1.3)	(△396)	(30.9)	(213)	(1.7)
		4,152	32.5	3,973	30.0	△178	95.7	4,108	31.8
	プロセスエンジニアリング	(956)	(7.5)	(1,112)	(8.4)	(156)	(116.3)	(586)	(4.5)
		6,288	49.2	6,472	48.9	183	102.9	6,441	49.9
	バルブ	(193)	(1.5)	(137)	(1.1)	(△56)	(71.1)	(114)	(0.9)
		1,001	7.9	1,005	7.6	3	100.4	924	7.1
	その他	(702)	(5.5)	(696)	(5.3)	(△5)	(99.2)	(934)	(7.2)
1,332		10.4	1,780	13.5	448	133.6	1,443	11.2	
小計	(2,426)	(19.0)	(2,124)	(16.1)	(△302)	(87.5)	(1,847)	(14.3)	
	12,775	100.0	13,232	100.0	456	103.6	12,917	100.0	
連結調整額	(△141)	(-)	(△127)	(-)	(14)	(-)	(△95)	(-)	
	△415	-	△505	-	△90	-	△311	-	
合計	(2,285)	(-)	(1,996)	(-)	(△288)	(87.4)	(1,752)	(-)	
	12,360	-	12,726	-	366	103.0	12,606	-	

注1. ()は海外受注高及び海外受注残高で内書であります。

2. 各セグメントの受注高及び受注残高は、連結調整前の金額であります。

3. 「その他」は、サニタリーバルブの製造販売、エンジニアリング事業、全自動連続殺菌冷却装置の製造販売、海外拠点における事業及び発電事業であります。

4. 「その他」の当四半期末の受注残高は、当四半期より連結の範囲に含めた旭工業株式会社の前連結会計年度末の受注残高を含めて表示しており、前連結会計年度の受注残高から当四半期の売上高、受注高を加味した金額とは一致しません。